

第15回

青春21文字 の メッセージ



電車と青春21文字プロジェクト

第15回

青春21文字
の
メッセージ

ことばが光ると おもいが届く



青春21文字 メッセージ

プロジェクトマークについて

21文字メッセージ事業をより多くの方にとって頂くため、作品掲示や広報の際にアイコンとして、プロジェクトマークを滋賀県内のデザイン団体と学生との共同で作成しました。

「ことばが光ると 思いが届く」というキャッチコピーと滋賀県・琵琶湖・青春・文芸を表現するシンボルマークは、柔らかさと知性を特に意識しました。

21文字プロジェクトとは

「京阪（石山坂本線）は向かい合わせの席が青春ほいから好き!」、沿線の女子中学生の言葉です。この何気ない言葉からこの活動は生まれました。沿線に数多くの学校があり、大津市で琵琶湖に沿って走る京阪電車石山坂本線は青春路線。その駅数21に因んだのが「青春21文字のメッセージ」です。2006年にスタートした第1回から最終審査員をお願いしています俵万智さんは、学生時代に路面電車で通学されていて、毎回素敵なコメントをいただいています。

回を重ねて協力いただく団体・企業が増え、このプロジェクトは滋賀県域から全国に広がってきています。電車から生まれたこの活動、入口「交通」、切り口「文化・文芸」、出口「観光」を合言葉に、滋賀県発の新しい独自文芸が、心豊かなまちづくりにつながることを願っています。

はじめに

琵琶湖に沿って走り、沿線に学校の多い京阪電車石山坂本（いしやまさかもと）線の駅数21にちなんで始まった「青春21文字のメッセージ」。「21文字」と言う新様式の文芸表現の第15回受賞作品を紹介します。2021年は、前年に引き続きキャッチコピーを「ことばが君の背中を押す」としました。新型コロナウイルスの影響が続く中、前向きに進んでいこう！との思いから「空」「おしゃべり」「エール」「線路」の4つをサブテーマとし、言葉にふさわしい元気が出る作品が集まりました。

今年の実施に向けての資金獲得のために、初めて「第15回青春21文字のメッセージ実現プロジェクト」としてクラウドファンディングを実施しました。支援・応援してくださいました皆さまからの言葉に、私たちは、まさしく「背中を押して」頂いた思いです。それぞれの青春の思いを言葉にした作品で、ひととき元気の出る「胸キュン」の世界に浸ってみてください。

目次

21文字プロジェクトとは	1
はじめに	2
これまでの軌跡	5
過去の応募点数	6
第15回受賞作品	7
滋賀県知事賞	8
大阪電鉄賞	13
近江勸学館賞	15
近江鉄道賞	13
信楽高原鐵道賞	14
さわやか賞	11
西日本旅客鐵道賞	14
青春賞	10
大津市長賞	9
団体賞	15
入賞作品	17
入選作品	25
審査員コメント	53
俵万智さん総評	56

滋賀県知事祝辞 58

大津市長祝辞 59

今年の活動を振り返る 61

クラウドファンディングについて 62

クラウドファンディング支援者からのコメント 63

支援者の方々からの応援メッセージ 64

ご協力いただいた京都信用金庫様からのコメント 65

その他ご協力事業者様紹介 65

画家寺田みのるさんコメント 66

前回(第14回)受賞者コメント 67

協力者リスト 72

あとがき 74

これまでの軌跡

- 2001年.. 大津のまちづくりについて、行政からの呼びかけに応じて市民団体が「京阪電車石坂線」をまちづくりのテーマの一つとして提案
- 2003年.. 「石坂線21駅の顔づくりグループ」として活動開始
- 2006年.. 「電車と青春21文字のメッセージ」事業開始
- 2007年.. 企業とNPOの協働を顕彰する「第5回パートナーシップ大賞」グランプリ受賞
- 2008年.. 「あしたのまち・くらしづくり活動賞」内閣官房長官賞受賞
- 2012年.. NHK大津の地域発ドラマ「石坂線物語」に「21文字メッセージ」が原作として使用され3編の単発ドラマが製作された
- 2015年.. 10年目を迎え「電車と青春21文字プロジェクト」を結成。クラウドファンディング、NHKとの連携（番組）あほやねん！すきやねん！など10周年記念事を実施
- 2016年.. 文化経済フォーラム滋賀「文化で滋賀を元気に！賞2015 大賞受賞
- 2017年.. 「電車と青春21文字プロジェクト」として、大津市との協働提案事業として実施
- 2018年.. 滋賀県の後援・連携で県内の公共交通である近江鉄道にも活動が広がる
- 滋賀トヨペット(株)の協賛で作品集を作成・発行
- 2019年.. 滋賀県協働提案実施事業として活動
- 県域での公共交通として信楽高原鐵道とも連携
- 写真、デザイン、音楽などの他分野団体とコラボする文化活動に発展
- シンボルマークを制定
- 2020年.. 前年に引き続き滋賀県協働提案事業として活動し、西日本旅客鉄道とも連携
- 2021年.. 「第15回目実現プロジェクト」としてクラウドファンディングを実施し事業を継続

●過去の応募点数

第1回	(2006年度)	2355点	(47都道府県)
第2回	(2007年度)	2621点	(〃)
第3回	(2008年度)	2017点	(〃)
第4回	(2009年度)	1903点	(〃)
第5回	(2010年度)	1905点	(〃)
第6回	(2011年度)	2948点	(〃)
第7回	(2012年度)	3042点	(中国、アメリカも)
第8回	(2013年度)	3778点	(スイスも)
第9回	(2014年度)	5048点	(韓国、フィンランド、シンガポール、アメリカも)
第10回	(2015年度)	4603点	(47都道府県)
第11回	(2017年度)	4999点	(〃)
第12回	(2018年度)	4527点	(〃)
第13回	(2019年度)	4017点	(〃)
第14回	(2020年度)	5350点	(〃)
第15回	(2021年度)	4285点	(〃)

第15回受賞作品



京阪電車穴太駅付近

毎朝君との2駅7分 ちりも積もれば恋になった

ハナ（埼玉県 26歳）

【俵さん講評】

一日に、たった7分の交流。それが特別に濃いのではなく「ちりも積もれば」と表現したところが面白いですね。毎朝の習慣のような時間が、気がつけばとても大切なものになっていたのでしょう。2駅7分という具体的な数字がリアルで効いています。

線路沿いの案山子が手を振る 今日が最後の見送り

杉浦 聡美（神奈川県 53歳）

【俵さん講評】

同じ風景でも、こちらの気持ちや状況が変化すると、違って見えるもの。案山子は、ずっと同じように手を振っているのですが、それを「最後の見送り」と受けとめたところに、作者の思いがこもります。

青春賞

君の駅までの線路 僕の「好き」までの導火線

小野 櫻（東京都 24歳）

【俵さん講評】

君の待つ駅へ向かう「告白爆弾」ということですね。だから線路は「導火線」。当たって砕けるという覚悟の気持ちだが、ユニークな比喻で伝わってきます。

さわやか賞

受験日の朝 車掌からのエール 前途洋々指さし確認

緑川 大二郎（福島県 22歳）

【俵さん講評】

顔見知りの車掌さんなのでしょう。いつもの指さし確認をしながら「受験よし！」なんて言ってくれたのかもしれない。前途洋々という言葉の明るさ。読む人までエールをもらったような気持になる作品でした。

ユーモア賞

キミがホームへ降りるとき 僕の心は急停車

なかむら ゆうき（滋賀県 14歳）

【俵さん講評】

「えっ、もうここで降りてしまうの!?!」という驚き。緊急事態発生と言わんばかりに、大げさに「急停車」と表現したところ、上質なユーモアを感じました。

京阪電鉄賞

毎朝のおはようを重ねて 吊り革の距離が縮まる

小池 清隆（長野県 22歳）

近江鉄道賞

コロナ禍でも車内おしゃべり手話の子キュート

荒木 光弘（東京都 65歳）

信楽高原鐵道賞

停車駅ふと見えたヒマワリ
前を向く
僕も負けない

宮岡 隼都（広島県 14歳）

西日本旅客鐵道賞

踏切であの娘と通過待ち
長い列車が来ますように

今上 大（北海道 45歳）

近江勸学館賞

直接言えなかつた頑張れを丸めて君の背に投げる

青木 日向子（兵庫県 16歳）

団体賞

大津市立日吉中学校（滋賀県）

大津市立唐崎中学校（滋賀県）



大津駅観光案内所オーツリー



JR 西日本大津駅

入賞作品



京阪電車びわ湖浜大津駅

ホームに舞う桜の花 一つ頂いて本に挟んでみる

青色紅葉（宮崎県 19歳）

部活帰りの伝言板、ただガンバレと大きな癖字

上村ひろし（埼玉県 75歳）

運転手さん線路ってずっとずっとつながってるの

木村 岳翔（滋賀県 4歳）

豪雨も雷雨も無関係君との座席が近けりや快晴

久保 千年世（広島県 35歳）

ホームで母は手を振った。父は背を向けた。

さごじょう (愛知県 38歳)

だんだん空が広くなるから、帰りの電車が好き

佐藤 江梨奈 (東京都 26歳)

どこにでも行けると思っていた
15の春の線路

ばばりん（大分県
62歳）

決めた進路　続く線路　走る音さえエールになって

松井　友美（京都府
48歳）

初デート　いつもの車両でよそゆきのおしやべり

山下　奈美（静岡県　49歳）

曇った電車の窓に　君が残した相合傘を見つけた

山本　貫太（東京都　24歳）

目の前のまだかたい四月の制服、
なんて眩しい

レモネード（滋賀県
20歳）

胸キュン商店街



大津市ナカマチ商店街での展示「胸キュン商店街」

入選作品



京阪電車京阪石山駅

車窓から空見つめ、頑張れ自分！ とエールを送る

相原 透（東京都 55歳）

君と夕焼けの空を見て私の頬も真っ赤に染まる

青木 李々果（滋賀県 15歳）

受験日、改札の外から見送る母。心で思う頑張れ！

アラグスク（和歌山県 30歳）

線路は、まっすぐ。君を思う気持ちもまっすぐ。

有沢 由桜（滋賀県 13歳）

あの笑顔通学電車を待つ君に湖面渡れる風は爽やか

市場 さと枝（大阪府 76歳）

満月が電車の窓に張りついて私の帰りを見届ける

井手口 早苗（大阪府 60歳）

君と歩く線路沿い　じゃあねがいやで歩幅縮める

上垣　哲也（兵庫県　59歳）

電車の中のアなたと私。縮まれ座席と心の距離。

上田　真緒（滋賀県　14歳）

窓越しに聞こえた君の「頑張れよ」私の大事な宝物

宇藤　百合香（長崎県　20歳）

故郷に残る寂しき隠して、旅立つ君にエールを送る

嬉野 千恵子（福岡県 59歳）

君のおしゃべりに耳をすまし進まない単語帳

雲琳（宮城県 24歳）

君と同じ空を見たくてこそり同じ側の席に座る

えいち（長野県 39歳）

追いつきたいあなたの背中、今年は同じ制服着てる

大江 まなは（滋賀県 17歳）

マスク越しのおしゃべりで、君の瞳が綺麗だと気づく

大塚 遥香（静岡県 32歳）

大きすぎるランドセル 親に代わりエールを贈る

岡本 望（滋賀県 50歳）

何見てるの？
窓に反射する君の横顔なんて言えない

奥川 友裕（京都府 22歳）

月が綺麗とって月の光を聴く、
電話越しの君

小田 はる菜（静岡県 17歳）

炎天下のベンチで好きだと言われ、
体が溶けた

かつぱえびちえん（秋田県 40歳）

応援してるよって言えたからいいの、さよなら初恋

金江 晃（東京都 26歳）

ホームで君と二人きり、電車よ来るなと心から

亀山 武琉（滋賀県 14歳）

伝えたら？ 春空にせかさされ 君へ向かう電車に乗った

萱沼 コアラ（東京都 39歳）

寝転んで空の青さが目に沁みる恋に破れた18の夏

菅 貴久代（愛媛県 63歳）

不合格に泣いたあの日のエールは空の虹だった

喜多 住香（奈良県 44歳）

改札に合格祈願のエール カイロをギュッと握る朝

クロ（福岡県 21歳）

夢中になり電車を逃がす遅刻と引き換え君との会話

高坂 龍之介（滋賀県 14歳）

「あ、見て」君に話す勇気くれた虹、17才

河野 泰子（大阪府 34歳）

線路の向こうに君がいる、短い時間の天の川

54BR（岡山県 48歳）

流れる視界の額縁に、いつもの駅で君が加わる

こじまる（東京都

38歳）

「好きやってん」「俺も」子を抱く君と笑う同窓会

小原 拓万（兵庫県

37歳）

朝ランする君、車窓から私のエールで背を押ししたい

コリー（千葉県

34歳）

おしゃべりと電車のリズムが弾む幸せに乗る

近藤 己順 (大阪府 38歳)

つり革一つ空けたおしゃべりの距離がもどかしい

今野 華奈 (東京都 27歳)

慌てて握った。つり革、じゃなくてあなたの腕

酒瀬川 輝 (東京都 21歳)

線路の向こうにいる君と私だけ知るアイコンタクト

さがね（京都府 19歳）

「さってらっしやい」我が子が1人電車に乗る日。

さくみ（福岡県 34歳）

賑やかな遠足の子の一群が降りて車内は静と寂

山藤 一雄（島根県 64歳）

目を上げれば車窓から虹 今度の恋はきつと大吉

汐海 岬（東京都 49歳）

皆が下を向く駅で空を見上げた僕だけが見た虹

庄野 酢飯（大阪府 23歳）

傘が触れて君との会釈、私の心は晴天です。

白萩 キヤラ（大阪府 22歳）

手を繋ぐ　おしゃべりな君を黙らせる僕だけの方法

z o o (大阪府)

37歳)

もう少し話がしたくて歩く、君への想い二駅分

反木 綿一 (滋賀県)

23歳)

告白に既読がつくまで空と喋った日の記憶

タカチャン (東京都)

37歳)

マスクしててよかった。『君が好き』と言えたから

竹内 喜一（大阪府 44歳）

降りる直前早口で約束「明日も一緒に帰ろう」

田中 克則（和歌山県 42歳）

雪のホーム あなたの後に私 二人で一つの足跡

玉井 泉（大阪府 68歳）

今日君と何を話そうか 車窓の景色に話題を探す

たろう (兵庫県 19歳)

車窓ごし伝わるだろうか君へのエール手話でのガンバ

土屋 春美 (東京都 63歳)

迎れば君に会えるだろうか 地上に2本の天の川

津村 知樹 (滋賀県 25歳)

初めましてと改札へ、今日からここが最寄り駅

どれみ（滋賀県 20歳）

隣に座れた。私の鼓動だけおしゃべりだった。

永田 智子（福島県 39歳）

乗り合わせ君の横顔眺めては友との会話上の空

中村 朱里（滋賀県 13歳）

閉じたドアの向こうで君の口がガンバレと動く

中村 貴子（宮崎県 44歳）

隣の車両に乗る君の頑張れと笑顔が勝利のお守り

面谷 美佳（滋賀県 13歳）

学校で出る給食も、あなたと食べれば星三つ

新田 蒼一郎（滋賀県 12歳）

ホームへホームラン級の声飛ばす 祖父の「頑張れ」

忽滑谷 三枝子（群馬県 64歳）

旅立ちの日 線路の先には 夢と希望と少しの不安

のの（鳥取県 24歳）

部活のランニング電車の音が自分へのエール

野原 直太（滋賀県 14歳）

受験日にメールで「がんばれ」不器用な父から

馬場 和義（大阪府 66歳）

トンネルでやっとみれた窓に写った君の顔。

浜崎 大誠（滋賀県 13歳）

ホームで見送る母 目に涙 見えた口元 「がんばれ」

濱田 岩夫（大阪府 60歳）

線路のすすきに冷やかされ
紅い顔で君を待つ

ひよこのときか（奈良県 35歳）

大好きな君にエールを送る。
届く声、届かぬ恋。

福島 にこ（東京都 12歳）

6年ぶりに降りる駅で置いてきたはずの夏に出逢う

藤井 響子（兵庫県 23歳）

打席に入るあなたをここぞとばかりに名前で呼んだ

ふんわり食感（愛知県 29歳）

体育祭の帰り道、友達と日焼け後見て笑い合う。

松本 煌我（滋賀県 16歳）

卒業の日 車窓の桜は蕾 車内のおしゃべり満開

松本 萌（宮城県 39歳）

降りていく ユニフォームの背に エールを送る

蓑輪 さくら（滋賀県 46歳）

開いたドア 目の前に君 電車がくれたエールかも

宮島 未奈（滋賀県 37歳）

何気ないおしゃべり交わす老夫婦今日も健やか

宮田 賢三（兵庫県 82歳）

君ごしに見る 車窓の青空は 最高のキャンバス

むーん (東京都 26歳)

失恋したと泣く君にほっとしちやった、僕は悪魔

谷内 彩花 (滋賀県 14歳)

君のおしゃべり聞きたくて無音の僕のイヤホン

柳 和樹 (京都府 31歳)

マスク越しの「すき。」トンネルの向こうは青空。

山本 知佳（神奈川県 30歳）

自粛中枯れた心は蕾のよう友に会えたら開花する

山本 なつな（滋賀県 16歳）

肩叩き きばれと両親 ホームで笑顔の旅立ち

吉川 恭子（大阪府 81歳）

制服も定期もこの景色も、期限は3月31日まで

りっちゃん（北海道 40歳）

両手で口を塞いで笑う癖マスクしてても同じだね

りなびよん（大阪府 57歳）

また今年通学の電車だけが君と同じクラス

りようちゃん（千葉県 37歳）

電車内の老人に席をゆずる君微笑む姿にキュンとくる

渡邊 朱莉（滋賀県 12歳）

今回は三日月大造滋賀県知事からも作品をご応募頂きました。



審査員コメント

●大津市副市長 杉江 達秀

今回の審査にあたっては、青春21文字のメッセージのひとつひとつが、私をちょっとしたショートムービーの世界へ誘ってくれました。読んですぐに情景が浮かぶ作品が好きです。ということは、私自身の経験と重なるということですからちよつと気恥ずかしい気がします。

「ことばが君の背中を押す」というフレーズを常に念頭に置いて審査をしましたが、読んでいくにつれ、それぞれの作品のことばが「私の背中を押してくれました。」今年もたくさん作品と出会える機会をいただき本当にありがとうございます。

●トヨタモビリティ滋賀株式会社 常務取締役 小澤 伸之

最近はある人が作った俳句を評価して才能のあるなしを問うバラエティ番組があり、私も結構毎回観ているのですが、そういった俳句あるいは短歌と異なり、原則「21文字で」として募集されたのが本企画の作品群であります。いわゆる定型を度外視していても、あるいは多少稚拙であろうが季語がなからうが、とにかくストレートでピュアな作品が多く、心が爽風で洗われる感じがしました。老若男女を問わず、本当に皆さん青春真っ只中！、そんな印象です。

●大津商工会議所女性会会長 岡澤 則子

今年も「青春21文字」の審査に関わることが出来ました。

去年には去年の、今年には今年の色があり、ほのぼのとした感慨を覚えます。青春真っ只中！ と思えば高齢者の歌だったり、渋いな！ と思えば十代の方だったり、不思議な思いの中、心にグツと刺さったものを大津商工会議所女性会の皆さんと選ばせて頂きました。

あの頃の自分がまた蘇りました。私が京阪電車石坂線で高校に通っていたのはもう45年も前のことですが、あの時の光景は、陰りの無い「人生の玉手箱」で、心の深いところに今も鮮明に残っています。応募者の方の人生をも垣間見たようで、懐かしくも楽しい選考の時間を持たせてたせて頂きました。有難うございました。また来年!!

●日本放送協会大津放送局長 手島 一宏

初めて審査しましたが、500もの21文字を拝見しながら、様々な情景が思い浮かび、共感したり、つい応援したり、そして時として自分の中に湧き出てくる懐かしい思い出に浸りながらの審査でした。自分と同世代の方々からの作品が多いのは驚きでしたが、楽しい思い出やほろ苦い経験など幾つになっても青春は色あせないことを感じました。そして現在のコロナ禍で、感染防止をしながら、むしろマスクや距離があるからこそできた「好き」という告白や思い切った行動には、コロナ禍での閉塞感を突き破る若い人達のエネルギーを感じました。電車は人を運びながら、居場所を提供したり、駅（土地）を変えたり、時間が経過することで、色々な人の人生を紡いでいる、人生の物語を生み出していることを改めて感じています。

● 毎日新聞大津支局長 村元 展也

コロナ禍の中で迎える2回目の「青春21文字のメッセージ」。サブテーマの空・おしゃべり・エール・線路の四つの言葉には「言葉を練るときに前向きな気持ちになっていただけたら」という願いを込めました。その思いが通じたかのような作品に多数出会えたことはうれしい限りです。言い知れない息苦しさの中にあっても、何気ない喜びや希望を見出そうとする心の動きが人々に芽生えているのだと思いました。

● 特別審査員 菅原 一輝

今年もたくさんの方からの思いの詰まったメッセージを読ませて頂き、過去の自分の姿を重ねて思い出に浸ってしまいました。21文字という中で、パッと一瞬でその情景の中に自分自身が引き込まれてしまい、その先どうなるのかなとつい思い描いてしまうストーリー性を持つ作品が印象的でした。特に空という手の届かない景色と目の前の日常を重ね合わせる作品には、遠近法に操られたような不思議な感覚を覚え、うっとりさせられてしまいました。

(*) 今回、行いましたクラウドファンディングのリターンとして、2次審査員をお願いした支援者の菅原一輝さんの審査コメントです。ありがとうございました。菅原さんは、長年1次審査員を務めて下さっている方でした。

俵万智さん総評

SNSが普及して、短い言葉で発信する機会が増えました。とても便利な時代になりましたが、だからこそ言葉を磨くことは、いっそう大切になっているように思います。応募されたみなさんが持った「言葉を探して磨く時間」は、とても豊かなものだったのではないのでしょうか。そのことが作品を通して伝わってきました。



俵万智（たわらまち）歌人

早稲田大学卒。1986年、作品「八月の朝」で第32回角川短歌賞受賞。1987年、第一歌集「サラダ記念日」を出版、ベストセラーとなる。翌年、「サラダ記念日」で第32回現代歌人協会賞受賞。2004年評論「愛する源氏物語」で第14回紫式部文学賞受賞。第四歌集「プーさんの鼻」で2006年第11回若山牧水賞受賞。歌集の他、小説、エッセイなど著書多数。最新刊「未来のサイズ」で詩歌文学館賞、追空賞を受賞。現代短歌の魅力を伝え、すそ野を広げた創作活動」により2021年度、朝日賞受賞。

— 第15回 —

青春21文字の メッセージ

募集中

● サブテーマ

空・おしゃべり・エール・線路

※複数またはどれか1つをイメージした作品

ことばが光るとおもいがたく



青春21文字
メッセージ

クラウド
ファンディング

実施します

※詳細はHPをご覧ください



青春21文字

ことばが君の背中を押す

手紙、詩など形式は自由の21文字文芸。

青春や交通にまつわる思い・夢などを

サブテーマをイメージして表現してください。

入選作は、県下の電車や駅、商店街などに展示予定。

● 応募締切

2021年10月15日
(消印有効)

● 応募要項の詳細は裏面をご覧ください

● 発表・2022年2月(予定)

● 電車と青春21文字プロジェクトのHPで発表

● 主催・電車と青春21文字プロジェクト

● 共催・大津市

● 後援・滋賀県

● 協賛・滋賀トヨベツト、叶匠壽庵、

大津商工会議所女性会、近江勤学館、

京都信用金庫、京阪電気鉄道、近江鉄道、

信楽高原鐵道、西日本旅客鉄道 ほか

● お問い合わせ先・電話

080・2444・3359



デザイン：成安造形大学 / みしまちあき 監修：びわこデザイン文化協会 / 青谷知好 今北麻一

ポスターデザイン：みしまちあき デザイン監修：びわこデザイン文化協会

滋賀県知事祝辞

「第15回 青春21文字のメッセージ」作品集の御完成、誠におめでとうございます。

琵琶湖沿いを走る京阪石坂線を舞台にした「青春21文字のメッセージ」も今回で15回目となりました。青春の一場面を切り取った21文字のメッセージは、どれも素晴らしい作品で、皆さんのメッセージを読み、青春時代を懐かしく感じ、また言葉が持つ力に元気をいただきました。そして今回は初めて私も、気持ちを込めてこのメッセージに参加させていただきました。

地域の方々とって欠かせない、また、滋賀の観光の魅力の一つでもある「電車」の魅力に焦点をあてたこのプロジェクトを、毎年多くの方が楽しみにされていることは喜ばしい限りです。

私は、交通は単なる移動手段ではなく、地域の文化であると思っています。皆様のあたたかく、淡く、時に切ない思いが詰まったこの作品を通じて、公共交通がより身近な存在になり、その魅力に触れていただきたいと思います。

このプロジェクトの今後ますますの御発展と皆様の御活躍をお祈りいたしますとともに、これを機に皆様が増賀を訪れ、舞台となった場所でまた新たなドラマを作ってくださいることを御期待申し上げます。

令和4年吉日

滋賀県知事 三日月 大造

大津市長祝辞

「第15回青春21文字のメッセージ」につきまして、全国各地の多くの方にご応募いただき、作品集の発刊がされましたこと、心からお喜び申し上げます。

「青春21文字のメッセージ」は、京阪電車の石山坂本線にある、21の駅にちなんで始まった大津発の心温まる事業です。

作品は21文字の限られた言葉で想いを表現するため、多くの時間をかけて考えられたと存じます。この作品集には21文字に込められた青春にまつわる様々な想いが溢れており、読者の皆様を楽しませ、魅了することでしょう。

今回の受賞作品は、作った方それぞれの電車や駅での1コマが短い言葉でありながらもドラマチックに表現されていきました。

大津市長賞を受賞された作品につきましては「案山子が手を振る」という言葉に、これからの将来へ向けた前向きな気持ちと、「今日が最後」の言葉から、いつも電車に乗る時見えていた案山子への愛着も垣間見えた印象的な作品でした。

新型コロナウイルス感染症の影響で、思うように外出もできない中、自宅でも取り組める文芸の創作や鑑賞の機会は、多くの方の支えになります。この作品集も、読んだ方の心を温かくし、日常生活をより豊かなものにする一助となるものと期待しております。

結びになりましたが、事業および作品集制作にご尽力いただきました関係各位の皆様には厚くお礼を申し上げます。

令和4年吉日

大津市長 佐藤 健司



京阪電車車内



青春号 (京阪電車)



信楽高原鐵道車内



近江鐵道車内

今年の活動を振り返る

クラウドファンディングについて

21文字で青春の一場面を切り取る「電車を舞台として青春を謳う文芸」である活動。自治体からの補助金も昨年度で終了し活動の存続が危ぶまれる中、地元の京都信用金庫さんから、私たちの思いを共感して形にしていただけ「クラウドファンディング」の提案を受けました。地域特産品や温泉入湯の体験型など魅力的なリターン品の協力企業を紹介いただきました。さらにこれまで蓄積してきた作品を出来るだけ多くの人たちに知ってほしいと思い「過去の作品集」を多数用意。これまでの作品集全冊を希望してくださる方もありました。新型コロナウイルスの影響が濃い中でしたが、目標額に達し、募集、審査、電車や町なかでの展示、そして今回の作品集作成にもこぎつけました。当初は知人などが中心でしたが、クラウドファンサイトで活動内容を知った方、メッセージ応募者の方からも応援頂きました。皆さまからの応援メッセージには、15年という積み重ねは私たちの想定以上に、電車の中吊りや商店街展示でこのメッセージを知って楽しみにされていたり、初めてクラウドファンサイトで知って事業や滋賀に関心を持っていただいた方もありました。人の心にエネルギーを与えるこの事業がいつまでも続きますように、と願ってくださる方など、その言葉の数々で私たちの背中を押していただきました。

クラウドファンディング支援者からのコメント

このたび実施しましたクラウドファンディングには、リターンとして21文字メッセージプロジェクトへの応援メッセージを頂く支援方法がありました。「@貴」という方からこんな応援メッセージを頂きましたのでご紹介いたします。

「青春21文字のメッセージ」プロジェクト運営に関わる皆さまへ

滋賀のルーツを辿るような、心のふるさとである「青春」に立ち返るような、本プロジェクトも大団円を迎えられること、心より祝意を表します。

ホームページやatobooksから発信される活動の軌跡、沿線地域での作品展示、青春味あふれる数々の作品、その作品を優しく掬われる倭万智さまの的確な評コメント。

どこを切り取っても、そこから人の大切な思いが感じられ、全体がまさにひとつの大きな青春の結晶だなあ、と感じ入ります。私自身、多様な21文字に思いを馳せ、自ら顧みるきっかけが与えられたように、誰かの青春が多くの人へ勇気や希望を授けることを、このプロジェクトは教えてくれます。

そうして人と人との繋がりが何か意味を持ち、温情が波及してゆく世界に、永遠に魅せられていたい。これから先も「青春21文字のメッセージ」が、私たちの生活の糧として寄り添い続けてくれることを切に願っています。

★詳しくはHPをご覧ください。 <http://densyatoseisyun21.com/>

支援者の方々からの応援メッセージ

- 京阪電車にメッセージが掲載されている時期は、いつもほっこりしたり、キュンとしたり。良い時間を過ごさせています。支援できる機会がうれしいです。
- 電車で青春……した覚えはないのに、21文字メッセージにはいつも惹きつけられます。今年も「胸キュン」体験させてください。応援しています！
- 大好きな短歌と歴史ある石山坂本線の美しい車窓からのコラボ企画、東京から応援しております！是非ぜひ近いうちに訪れたいです。
- 私も言葉のもつチカラを信じています。プロジェクトが実行されて、たくさんの方の背中を押してくれることを祈ります。
- 50回、100回と担う人が交代しても継続できるプロジェクトに、みんなで育てていきましょう。
- 入選作が商店街に展示される「胸キュン商店街」、毎年楽しみにしています！今後もぜひ続いてほしい取り組みです。
- 胸キュン青春メッセージで街と心に彩りを添える！こんなご時世だからこそ、このプロジェクトが人の心を与えるエネルギーの役割は大きいと思います。
- 青春21文字のメッセージが地域活性化の起爆剤となることを祈願しております。
- 以前、入賞したことがあり、私にとっても思い出深いプロジェクトです。断ち切れることなく続けていただきたいです。
- 故郷の思いを良く感じます。また、琵琶湖地域周辺の良さも想像します。もっと全国に広がる様に頑張ってください。
- 滋賀の貴重な文化です。継続は力です。応援してます。

ご協力いただいた京都信用金庫様からのコメント

京都信用金庫大津支店は、滋賀・大津の地域活性化に貢献したいという主催者の想いに共感し、第13回からプロジェクトに、第14回からは団体賞の協賛という形で関わらせていただいております。

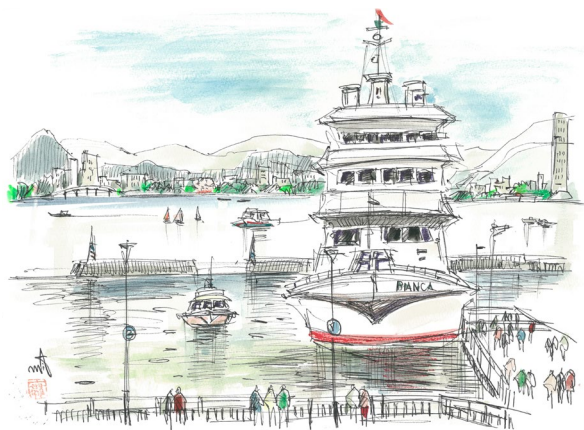
今回は、運用資金の調達にクラウドファンディングを提案させていただきました。リターン品協力企業とのビジネススマツチング活動に奔走し、目標金額を達成できたことは『おせっかいバンカー』を自負する我々にとって、主催者と共に大きな達成感を得られる結果となりました。ご支援いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

また、一次審査・二次審査にも携わらせていただき、青春をテーマとしたみずみずしい作品に触れることができ「ことばの持つ力」に感動いたしました。コロナ禍で暗い世相である今こそ、当プロジェクトが心豊かな街づくりの一助となることを期待します。そして、滋賀県発の新しい文化として発展し、今後も継続されることを願っております。

その他ご協力事業者様紹介

近江鉄道、元祖阪本屋、京阪電気鉄道、信楽高原鉄道、比叡ゆば本舗ゆば八、琵琶湖汽船、びわ湖花街道、よこいファーム（50音順）

画家 寺田みのるさんコメント



浜大津港

(*) 地元を愛する画家 寺田みのるさん。この作品集に、京阪電車をはじめとして滋賀県内の鉄道の沿線スケッチを寄せて下さいました。

「地元」「生まれた町」の風景をスケッチするよろこび、楽しみ。過ぎ去る町の歴史を想いながら筆を走らす地元愛です。21文字に秘められた人生の日々を見せてもらえる喜びに感動します。小さなドラマがいっぱいです。皆さんで盛りあげてください。

●プロフィール

寺田みのる、大津市生まれ。旧三洋電機企画部長。
世界水彩画精鋭選抜展招待作家。
大津市絵画展審査委員長、個展100回 イタリア、フランスでも開催、著書多数

前回（第14回）受賞者コメント

前回（第14回）受賞者コメント

●梅村たお（滋賀県知事賞）

「昨年度は滋賀県知事庁賞を授与していただき誠にありがとうございました。前回受賞の対象となった「イヤホン壊れて車窓からセミの声、夏を知る」はコロナ渦の電車の中から着想を得たものです。感染症対策の一環として換気のために電車の窓が開けられるようになり、街の音や風を電車の中にいながらも体感することが増えました。部活帰りの電車の中で、音楽を聴こうとイヤホンをつけたその時、蝉の声が耳に飛びこんできました。思わず顔を上げると、車窓一面が初夏の緑に染まっっていて、蝉の鳴き声が車両いっぱいに響いていました。もう夏は来ていたのだと、心浮き立ったのを覚えています。

電車と青春21文字プロジェクトは公募サイトで知りました。どの過去の受賞作も素晴らしく、21文字が電車のように風景と想いを繋ぐ様に大変感動しました。受賞のご連絡を頂いた時はまさか自分かと俄かには信じられませんでした。このように名誉ある賞に選出されたこと、俄万智さんからコメントを頂けたこと、心の底から嬉しく思います。最後になりましたが、選出してくださった審査員の皆様、関係者の方々、本当にありがとうございました。」

作品 【イヤホン壊れて車窓からセミの声、夏を知る】

●一乗寺 遥 (大津市長賞)

掲載される100作品に選ばれたと連絡をいただいたときはとてもびっくりしました。大津市長賞に選ばれたと連絡があったときは、びっくりを通り越して哑然としました。たくさん作品のなかから選んでいただいたこと、俵万智さんにみていただいたこと、とても嬉しかったです。

作品は、コトコト進む電車と静かな沿線のどこかに自分がいることを想像しながら書きました。俵万智さんの講評に未来の視線、過去を振り返ってという言葉がありました。本当にその通りで私の中では駅のホームは未来へのスタート地点でありこれまで生活を一区切りする場所というイメージです。

もう一つ嬉しかったことは他の方の作品を見る機会ができたことです。皆さん、特に中高校生の方の作品はなんだか胸が切なくなります。

スタッフの皆様の電話でのご連絡や直筆の文章等、暖かい気持ちになりました。落ち着いた暁には、京阪石山坂本線に乗りに行くつもりです。ありがとうございました。

作品【ホームの先に見える空 離れる今日が一番青い】

●だいちゃんZ! (青春賞)

一瞬見えなかったコロナ収束。しかし残念ながらオミクロン株が猛威を振るい、振り出しに戻ったような2月。そういえば昨年の今頃、「第14回青春21文字のメッセージ」青春賞をいただきました。ありがとうございました。

俵万智さんの素敵な講評を昨日のことのように覚えていきます。ステイホームのホームを、駅のホームと掛けたこ

とをお褒めいただきましたが、作中の「ステイしたまま」「友だちのまま」は、恋へと発展しないもどかしさを自身の青春の一場面と捉え、言葉にしたものです。思い通りに行かない、時間が止まったような感覚は、いまコロナ禍で学校行事が相次ぎ中止となっている学生さんたちの心情にも重なるものがあるかと思えます。彼ら彼女らの心を察するに胸が痛くなります。早くコロナが収束し、若い人たちの時間が再び動き出すことを願ってやみません。第15回は応募できませんでした。次回機会がありましたらまた応募したいと思えます。

作品 【初恋。駅のホームにステイしたまま友だちのまま】

●滋賀短期大学附属高校（団体賞）

この度は、団体賞を受賞することができ大変うれしく思います。二十一字に想いを込める作業は、生徒の内側にある想像力・表現力を豊かにする貴重な機会だと感じております。このような機会をいただきありがとうございます。

「青春」という言葉から、様々に想いを馳せて取り組みました。特に印象に残っていることは、「先生、言葉って奥深いですね」と生徒から投げかけられたことです。「雨という言葉だけで、これだけ多くの種類があるんだね」と生徒が辞書を片手に話し合っている姿には感激いたしました。「使い勝手のいい表現」だけでなく「繊細な表現」に接近しようとするのができて有意義な時間となりました。

これからもこの素敵な取り組みに参加させていただきたいと思っています。

●大津市立唐崎中学校（団体賞）

本校は、国語科の授業の一環として、「青春21文字メッセージ」に応募させていただいております。唐崎学区は、京阪電車を利用する生徒が多く、中学校卒業後はさらに身近に感じるものとなるため、今の気持ちだけでなく、この先の自分のことを想像しながら作品を作ることができます。

青春の入り口に立ち、多感な時期にある生徒たちが、「今」というかけがえない時間のありがたさに気づいたり、まだ見ぬ「未来」を胸の内で膨らませたりするなかで紡ぐ21文字は、生徒の心を豊かに育み、自分の中の言葉と対話するために、大切なものとなっています。また、毎年私たち教員にとっても、生徒の作品から感動や気づきを与えられ、生徒たちのもつ可能性の大きさを感ずる機会となっています。

受賞した生徒はもちろんのこと、学校賞として、自分たちの取組を認めていただいたおかげで、さらに自由に、自信をもって言葉を生み出すことができるようになったため、生徒にとって大変意義のある活動だと感じています。

協力者リスト

令和3年度

【協力団体・企業】

滋賀県（滋賀県知事賞）

大津市（大津市長賞）

株式会社叶匠壽庵（青春賞）

大津商工会議所女性会（さわやか賞）

トヨタモビリティ滋賀株式会社（ユーモア賞）

京阪電気鉄道株式会社（鉄道賞）

近江鉄道株式会社（鉄道賞）

信楽高原鐵道株式会社（鉄道賞）

西日本旅客鐵道株式会社（鉄道賞）

一般財団法人天智聖徳文教財団（近江勸学館賞）

京都信用金庫（団体賞）

共催・大津市

後援・滋賀県

主催・電車と青春 21文字プロジェクト

尼田賢光、石坂線21駅の顔づくりグループ、NHK大津

放送局局長手島一宏、大津市社会福祉協議会、京都信用

金庫大津支店、京阪電気鉄道、滋賀リビング新聞社、び

わこビクターズビューロー川戸良幸、毎日新聞大津支局、

名鉄観光サービズ株式会社ほか（50音順）

第15回の作品募集ポスターデザイン..みしまちあき

監修..びわこデザイン文化協会

装画..寺田みのる

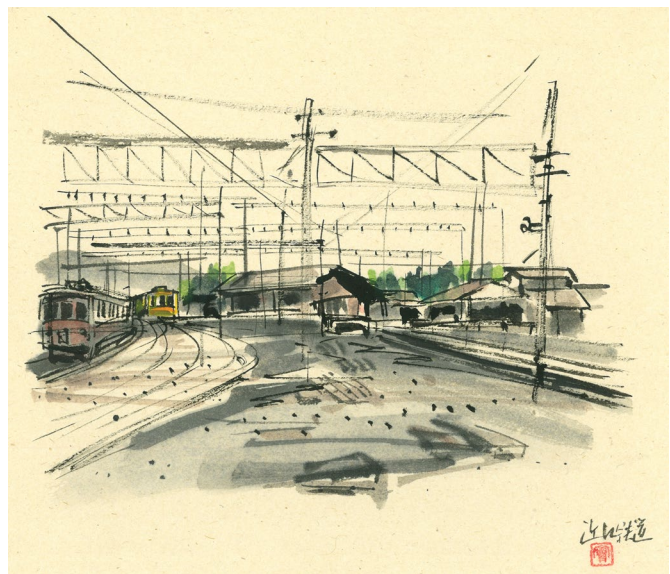
表彰式オンライン技術支援..窄口真吾

写真協力..京阪電気鉄道、近江鉄道、信楽高原鐵道、
西日本旅客鐵道、みしまちあき、ナカマチ商店街



信樂高原鐵道

信樂高原鐵道



近江鐵道

近江鐵道

あとがき

第15回の応募総数は4285点、全国47都道府県からの応募がありました。毎回サブテーマを私たちは力を入れて選んでいます。今年は、「空」「おしゃべり」「メール」「線路」でした。新型コロナウイルス感染症の影響が長引き、ウィズコロナと言われる時代「ことばが君の背中を押す」前を向いて進もうとの思いから決めました。応募作品の中で4分の1を占めたのが「空」で、上を向いて広い青い世界に進む、特に学校の課題で取り組んだ中高生の作品に取り上げられました。次に多かったのが「線路」前を向く道標（みちしるべ）的なとらえ方が多く、メールは後ろや遠くからチカラを送る、おしゃべりは双方向から、と向き合う方向がくつきりと表れましたが、いずれも前進につながる元気の出るものでした。

15年の時を経て行政や企業の支援が無くなった今年、経費ねん出のためだけではなく取り組み自体を知って頂きたいとの思いもあり、クラウドファンディングを行いました。リターンには過去の作品集を多数用意しました。作品応募者やクラウドファンディングのサイト情報で知って支援してくださった方々からの支援も頂きました。寄せられた応援メッセージには、私たちが知らない時点でいつも見守っていてくださっている方からの「応援してます。毎年楽しみです」、と同じくらい「初めて知りました。ずっと続けてほしい」との言葉に、ありがたさとともに責任をひしっと感じます。

事業を始めた2006年当時は、地元電鉄会社とのコラボでまちづくりに電車がどう関われるかとの視点での可能性を探る中「石坂線は通学路線Ⅱ青春」ととらえてスタートしました。15年の間に東日本大震災をはじめとして様々なことがあり、社会情勢も意識して毎年テーマを設定してきました。中でも新型コロナウイルス肺炎は、

大きな転換期になりました。作品自体にもこれまで登場しなかったマスク、ホームなどの言葉が増えましたが、もう一つコロナで人々の交流が難しい中だからこそ実現したことがあります。

今から思えば夢の世界のようですが、2年前、コロナの影響をわずかに免れた時期でしたが、地元デパートで表彰式を行い、そのあと近くの滋賀県立芸術劇場で「青春メッセジロビーコンサート」に臨み、受賞者が満面の笑顔で参加者から祝福されました。昨年は対面を避けてオンラインも導入し、戸惑いつつ実施。そして影響が続く今年は、完全オンラインで行いました。これまで私たちは、入選者には電話で連絡しお祝いを伝え、喜びの言葉を受けるといふ交流を大切にしてきました。今回授与者であるプレゼンターと受賞者が画面を通してですが、直接話ができ感激を分かち合えたのです。オンラインの活用が、感染症対策としての利点だけではなく、複数の場所にいる人々に同時に会い、しかも臨場感を持って交流ができる。時代ゆえにやむを得ずに起こったことが、凶らずも顔の見える交流の場を生み出すこととなりました。ささやかな幸せの積み重ねが前進する意欲につながると思います。そして、そこでの一言の言葉が重要な役割となります。

ドイツのメルケル首相の退任の際のコメントに「青春」という言葉がありました。式典の演奏曲を選んだ理由を質問されたメルケル氏は、「この曲は青春時代のハイライトだった」と答えました。誰にとっても人生の輝ける時代と重なるのが「青春」。

俵万智さんの講評に、応募されたみなさんが持った「言葉を探して磨く時間」は、とても豊かなものだったのではないのでしょうか。そのことが作品を通して伝わってきました。

言葉を探して磨く時間。素敵な言葉ですね。じっくりと青春と向き合う時を共有したいと思います。

第 15 回 青春 21 文字のメッセージ

2022 年 3 月 25 日発行

編集・発行：電車と青春 21 文字プロジェクト

© 2022 電車と青春 21 文字プロジェクト

無断転載・複製を禁じます。

お問い合わせ先：

E-mail: densyatoseisyun21@gmail.com

Web: www.densyatoseisyun21.com

ことは光ると おもいが届く



青春21文字
メッセージ